

# 式 詞

春爛漫の今日の佳き日に、入学式を迎えた  
百九名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうござ  
います。心からお慶び申しあげます。

本来ならば、地域の方々をはじめとする、ご来  
賓の皆様方に、ご臨席を賜るところではございま  
すが、皆さんもご承知の通り、新型コロナウイル  
ス感染症の影響により、ご遠慮いただいた次第で  
ございます。

さて、新入生の皆さん。皆さんは今日から住吉  
中学校の生徒です。ここから君たちを見ていると、  
緊張した表情ではあるものの、さあ今日から中学生  
として頑張るぞ、という気持ちが満ち溢れてい  
り、とても頼もしく感じます。

それでは、入学式にあたり、皆さんに期待する  
ことを、二つお話したいと思います。

一つ目は、「自ら考えて行動する」ということ  
です。そして、自分自身の行動には、責任を持つ  
ということです。

教科の学習活動や学級活動、そして、部活動な

ど、学校生活全般において、誰かに言わされたから行動をするのではなく、自分自身が、今何をしなければならないか、しっかりと考えたうえで、学習活動に、運動に、学校行事や部活動にも、精一杯頑張ってください。

二つ目は、「友だちを大切に思い、互いに協力する」ということです。

違いを認め合い、支え合いながら、ともに楽しい学校生活を、過ごしてほしいと思います。友だちの良いところをたくさん見つけて、「人を思いやる心」、「人に感謝する心」を持った人間に、成長してほしいと思っています。そして、「いじめ」や「仲間はずれ」がない、誰もが安心して、楽しく過ごせる学校を、皆で協力して、つくっていってほしいと思っています。

皆さんは、これまで家族や地域、たくさんの人々に見守られながら、過ごしてきました。

中学校の三年間で、多くのことを学び、地域や社会に、貢献できる人となってもらいたいと考えています。

さて、最後になりましたが、保護者の皆さま方、お子さまのご入学、誠におめでとうございます。本日より三年間、大切なお子さまを、私たち教職員が、責任を持ってお預かりし、子どもたちの輝ける未来のために、教育活動に、誠心誠意取り組んでいく所存でございます。しかしながら、なにぶん学校だけでは不十分な点も、多々あろうかと思います。保護者の皆様方の、本校教育活動への、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

新入生の皆さん、一年一年が大きな節目となる、これから三年間が、有意義なものとなり、今日、入学した七十六期生が、日々着実な歩みを遂げ、大きく成長することを期待して、式辞とします。

令和二年(二〇二〇年)四月四日

大阪市立住吉中学校  
校長 坂井 伸治